

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
(平成26年度事務事業分)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律
第27条の規定による

平成27年11月
七尾市教育委員会

目 次

I 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

- 1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について …… 1
- 2 七尾市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について …… 1
 - (1) 点検及び評価の目的 …… 1
 - (2) 点検及び評価の対象 …… 1
 - (3) 点検及び評価の実施方法 …… 2
 - (4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について …… 2

II 教育委員会の活動状況

- 1 教育委員会委員名簿 …… 4
- 2 教育委員会会議の開催状況 …… 4
- 3 その他の主な活動 …… 7

III 点検・評価の結果

- 1 第1次七尾市総合計画 基本計画（分野別計画）における施策体系 …… 8
- 2 事務事業の点検・評価の概要
 - 1－(1) 子どもの健全育成 …… 9
 - 1－(2) 教育環境の充実 …… 15
 - 1－(3) 学校教育体制の強化 …… 20
 - 2－(1) 生涯学習の推進 …… 24
 - 2－(2) スポーツの振興 …… 31
 - 3－(1) 歴史・文化遺産の保全と活用 …… 36
 - 4－(1) 優れた芸術・文化体験の創出 …… 42
 - 4－(2) 地域に根ざした演劇文化の振興 …… 49

I 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

平成18年12月の教育基本法の改正と平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行政法」という。）が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 七尾市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

七尾市教育委員会では、地教行政法の規定に沿って、平成26年度中における事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行いました。

（1）点検及び評価の目的

点検・評価は、住民に対する行政の説明責任を果たすことによって教育行政に対する市民理解と信頼性の向上を図るとともに、今後重点化を図らなければならない分野を明確にすることによって、市民が求める質の高い教育を提供していくことを目的としています。

（2）点検及び評価の対象

① 対象期間

平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

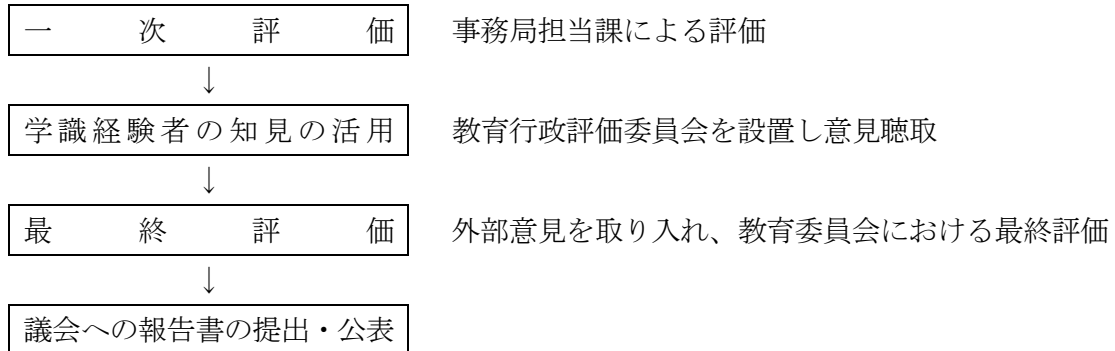
② 対象事務

地教行政法に規定されている教育委員会の権限に属する事務及び市長の権限に属する事務のうち教育委員会事務局において補助執行している事務

(3) 点検及び評価の実施方法

平成21年3月に策定された「第1次七尾市総合計画」(平成21年度～平成30年度)の基本計画の中分野別計画に掲げる施策体系に沿って、「第3節 教育」及び「第4節 芸術・文化」における基本的政策と施策について、施策を構成する事務事業ごとに、平成26年度中の活動状況を点検し、これを評価する方法により実施しました。

点検・評価の手順は、次のとおりです。



(4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々から御意見をいただくため、「教育行政評価委員会」を設置し、委員から様々な意見をいただきました。

委員の構成は、次のとおりです。

- ・ 学識経験者 1名
 - ・ 保護者の代表 1名
 - ・ スポーツ関係団体の代表 1名
 - ・ 社会教育関係の代表 2名
- 計 5名

七尾市教育行政評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律162号)

第27条第1項に規定する点検及び評価の実施にあたり、同法同条第2項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、七尾市教育行政評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、七尾市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の求めに応じ、次に掲げる事項について意見を述べるものとする。

- (1) 教育委員会の権限に属する事務の点検方法に関すること。
- (2) 教育委員会の権限に属する事務の評価に関すること。
- (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、5人以内をもって組織し、教育に関し識見を有する者のうちから

教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から教育委員会が点検及び評価の結果を公表する日までとする。

2 委員が欠けたときは、必要に応じて委員を補充するものとし、その任期は前任委員の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、教育委員会教育長が招集する。

2 委員長は、必要に応じて関係職員その他委員長が必要と認める者の出席を求め、関係事項について説明させ、又は意見を述べさせることができる。

3 会議は、公開とする。ただし、委員会の決定があったときは非公開とすることができる。

(傍聴)

第7条 会議の傍聴に関しては、七尾市教育委員会会議傍聴規則（平成16年七尾市教育委員会規則第3号）の例による。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会事務局子ども教育課において行う。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

この告示は、平成21年11月1日から施行する。

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員名簿

(平成27年3月31日現在)

委員長	山下 敏博	(平成24年7月1日～平成27年12月20日、1期目)
委員長職務代理者	寺岡 卓子	(平成22年12月21日～平成30年12月20日、2期目)
委員	大森 重宜	(平成16年12月21日～平成29年12月20日、4期目)
委員	室屋 佳美	(平成25年12月20日～平成28年12月20日、1期目)
委員(教育長)	近江 一芳	(平成24年12月21日～平成28年12月20日、1期目)

2 教育委員会会議の開催状況

期 日	場 所	付 議 案 件 等
平成26年 4月定例会 (平成26年4月22日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市スポーツ賞選考委員の任命について 七尾市スポーツ推進審議会委員の任命について (報告事項) 七尾市若林スポーツ賞受賞者の追加決定について 七尾市スポーツ推進委員の委嘱について 寄附採納について(4件) (その他) 田鶴浜中学校の将来に関する要望書について
5月定例会 (平成26年5月28日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市立学校設置条例の一部を改正する条例について 七尾市教育研究所条例の一部を改正する条例について 七尾市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則について 七尾市文化財保護審議会委員の委嘱について 七尾市図書館協議会委員の任命について (報告事項) 七尾市立学校学校評議員の委嘱について 七尾市小中学校結核対策委員会委員の委嘱について 寄附採納について(7件) (その他) 学校行事における防犯体制の強化について 中学校再編整備の状況について
第2回臨時会 (平成26年6月5日)	災害対策本部室	(議決事項) 教育財産の取得の申出について (報告事項) 七尾市教育研究所運営委員の委嘱について 七尾市少年科学館運営委員の委嘱について (その他) 中学校再編整備等について
6月定例会 (平成26年6月30日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市立学校管理規則の一部を改正する規則について 幼稚園就園奨励金補助金交付要綱の一部改正について (報告事項) 七尾市子どもの読書活動推進連絡会議委員の委嘱について 寄附採納について(6件) (その他) 「中島中学校の校舎として使用する公共施設の選択変更のお願い」について

期 日	場 所	付 議 案 件 等
7 月定例会 (平成26年7月30日)	災害対策本部室	(議決事項) 教職員の人事に関する内申について (報告事項) 寄附採納について (2 件) (その他) 教育委員会制度改革について
8 月定例会 (平成26年8月29日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市立学校設置条例の一部を改正する条例について 七尾市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 七尾市就学指導委員会規則の一部を改正する規則について 七尾市指定文化財の指定について 七尾市指定文化財の解除について (報告事項) 寄附採納について (1 件) (その他) 南エリア統合中学校建設工事設計業務技術提案の特定について
9 月定例会 (平成26年9月29日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市教育行政評価委員会委員の委嘱について (報告事項) 寄附採納について (3 件) (その他) 石川県教育委員会による全国学力・学習状況の各市町別公表について
10 月定例会 (平成26年10月29日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市立学校管理規則の一部を改正する規則について 七尾市小中学校児童生徒の結核対策に関する規則の一部を改正する規則について 七尾市小中学校結核対策委員会運営要綱の廃止について 七尾市教育奨励賞選考委員会委員の委嘱について 七尾市若林スポーツ賞選考委員会委員の委嘱について (報告事項) 寄附採納について (3 件) (その他) 七尾中学校建設計画配置 (案) について
11 月定例会 (平成26年11月28日)	災害対策本部室	(議決事項) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告について (その他) 七尾中学校の経過報告 今後の高階小学校、徳田小学校のあり方について
12 月定例会 (平成26年12月19日)	災害対策本部室	(その他) 12 月補正予算について
第3回臨時会 (平成26年12月19日)	教育委員会室	(議決事項) 教育委員会委員長の選挙について 教育委員会委員長職務代理者の指定について
平成27年 1 月定例会 (平成27年1月30日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市教育奨励賞受賞者の決定について 七尾市若林スポーツ賞等受賞者の決定について 七尾市立学校職員表彰式の決定について (報告事項) 寄附採納について (4 件) (その他) 七尾市立小中学校卒業証書授与式について

期 日	場 所	付 議 案 件 等
2 月定例会 (平成27年2月12日)	サンビーム日和ヶ丘	(議決事項) 土曜授業等の実施について 七尾市子どもの読書活動推進委員会設置要綱の制定について 七尾市文化施設等における共通観覧券の発行に関する条例について (報告事項) 七尾市教育奨励賞受賞者の追加決定について
第 1 回臨時会 (平成26年3月18日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市教育委員会事務局職員の人事異動について 教職員の人事に関する内申について 七尾市教育研究所長の任命について
3 月定例会 (平成27年3月26日)	災害対策本部室	(議決事項) 平成27年度七尾市教育行政の目標と基本施策について 七尾市教育委員会公告式規則等の一部を改正する規則について 七尾市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について 七尾市教育委員会会議傍聴規則の一部を改正する規則について 七尾市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 七尾市教育委員会事務局職員職名規則等の一部を改正する規則について 七尾市立学校管理規則の一部を改正する規則について 七尾市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について 七尾市小中学校教育環境づくり検討委員会設置要綱等の一部改正について 七尾市小中学校に勤務する県費負担教職員の自家用車の公務使用に関する要綱等の一部改正について 七尾市教育委員会公印規程の一部改正について 七尾市図書館処務規定の一部改正について 七尾市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 七尾市社会教育委員の委嘱について 七尾市社会教育指導員の委嘱について 石川県七尾美術館館長の委嘱について 石川県能登島ガラス美術館館長の委嘱について 七尾市青少年育成センター相談員の委嘱について 七尾市公民館館長の任命について 七尾市図書館協議会委員の任命について (報告事項) 七尾市教育奨励賞受賞者の追加決定について 七尾市スポーツ賞受賞者の決定について 七尾市教育委員会事務局職員の人事異動について 寄附採納について(13件) (その他) 七尾市立小中学校入学式について

3 その他の主な活動

時 期	各 種 会 議・関 係 行 事 等	開 催 場 所 及 び 参 加 者 数 等
平成26年 4月	市立小中学校入学式 定例校長会 石川縣市町教育長会議 石川縣市町教育委員会連合会理事会 東海北陸都市教育長協議会定期総会 並びに研究大会	小学校13校、中学校6校【5名】 201会議室【5名】 金沢市庁舎【教育長】 金沢市庁舎【委員長】 三重県鳥羽市【教育長】
5月	石川縣市町教育委員会連合会定期総会 巡回学校訪問 石川県へき地教育振興会理事会 全国都市教育長協議会定期総会 並びに研究大会	金沢市教育プラザ富樫【4名】 市内全小中学校【5名】 金沢市庁舎【教育長】 鹿児島市【教育長】
7月	石川縣市町教育長会議	金沢市庁舎【教育長】
8月	石川県へき地教育振興会理事会 石川縣市町教育委員会セミナー	金沢市庁舎【教育長】 KKRホテル金沢【4名】
9月	石川縣市町教育委員会連合会理事会	KKRホテル金沢【委員長】
10月	石川縣市町教育委員会連合会研究大会 東海北陸六県教育委員会連合会理事総会	輪島市 文化センター【4名】 小松市 サイエンスヒルズ小松【委員長】
11月	全国都市教育長理事会 石川縣市町教育長研修会 市町村教育委員会研究協議会（第17ブロック）	東京都港区 全日本中学校長会館【教育長】 KKRホテル金沢【教育長】 静岡県浜松市 アクトシティ浜松【教育長】
平成27年 1月	平成26年七尾市成人式 石川縣市町教育長会議 B&G全国サミット	七尾サンライフプラザ【5名】 KKRホテル金沢【教育長】 東京都港区 笹川記念館【教育長】
2月	七尾市教育活動をたたえるつどい 石川縣市町新任教育委員研修会	サンビーム日和ヶ丘【5名】 KKRホテル金沢【1名】
3月	市立小学校卒業証書授与式 市立中学校卒業証書授与式 北星小学校閉校式	中学校6校【5名】 小学校13校【5名】 北星小学校【5名】
通年	七尾市議会定例会及び臨時会 学校訪問（19校×2回） その他関係方面からの会議・行事出席 依頼による参加	七尾市議会議場【委員長、教育長】 市内全小中学校【5名】

Ⅲ 点検・評価の結果


1 第1次七尾市総合計画 基本計画（分野別計画）における施策体系

		政 策	基本的施策	施 策	
人 が 輝 く 交 流 体 感 都 市	市民が主役の まち	地 域 経 営	1 協働・市民参画の 推進	(1) 協働のまちづくりの推進 (2) 広報・広聴活動の充実	
	活気あふれる 元気なまち		2 効率的な行政経営 の推進	(1) 行政サービスの向上 (2) 健全な行財政経営の推進	
		産 業	1 観光の振興	(1) 魅力あふれる観光地の形成 (2) 広域観光の促進 (3) 体験・滞在型交流の促進	
			2 商工業の振興	(1) 地域資源を活かした商工業の振興 (2) 雇用機会の創出と人材育成	
			3 農林水産業の振興	(1) 個性豊かな農業の振興 (2) 豊かな森林資源の保全と活用 (3) 魅力ある水産業の創出	
			4 港を核とした産業 の振興	(1) 港湾の機能充実と利用促進 (2) 中心市街地活性化の推進	
		教 育	1 子ども教育の充実	(1) 子どもの健全育成 (2) 教育環境の充実 (3) 学校教育体制の強化	
			2 生涯学習・スポー ツの振興	(1) 生涯学習の推進 (2) スポーツの振興 (3) 国際交流の推進	
			3 人権尊重・男女共 同参画の推進	(1) 人権尊重の推進 (2) 男女共同参画の推進	
		芸 術 ・ 文 化	1 歴史・伝統文化の 振興	(1) 歴史・文化遺産の保全と活用 (2) 伝統的祭り行事の振興	
			2 芸術文化の振興	(1) 優れた芸術・文化体験の創出 (2) 地域に根ざした演劇文化の振興	
		自 然 環 境	1 自然環境・景観の 保全	(1) 自然環境の保全 (2) 魅力ある景観の形成	
			2 地球環境の保全	(1) 地球温暖化対策の推進 (2) 循環型社会の形成	
	健康・福祉・ 医療	1 子育て・子育て環 境の充実	(1) 子育て支援体制の充実 (2) 子ども親も共に育つ環境づくりの推進 (3) 母子保健の充実		
		2 健康づくり・医療 の充実	(1) 生涯を通じた健康づくりの推進 (2) 医療体制の充実		
		3 高齢者福祉の充実	(1) 高齢者の自立と社会参加の促進 (2) 介護支援体制の充実		
		4 障害者福祉の充実	(1) 障害者の自立と社会参加の促進 (2) 生活支援体制の充実		
		5 地域福祉・生活保 障の充実	(1) 地域福祉の充実 (2) 生活保障の充実		
	生活環境・ 都市基盤	1 防災対策の充実	(1) 防災体制の整備 (2) 災害未然防止対策の充実		
		2 住環境の充実	(1) 住宅・緑地の整備 (2) 防犯・交通安全対策の充実		
		3 生活環境の充実	(1) 環境衛生の推進 (2) 安定した水の供給 (3) 下水道等の整備		
		4 交通体系の充実	(1) 道路網の整備 (2) 鉄道・バスの充実		
		安全で住みよ いまち			

1 子ども教育の充実 (1) 子どもの健全育成

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	24年度	25年度	26年度	25年度 数値目標	30年度 数値目標
学校の決まりを守っていないという小学生の割合	児童の規範意識を示す指標	11.4%	9.9%	9.3%	12.0%	10.0%
将来の夢や目標がないという中学生の割合	子どもの目標意識を示す指標	11.2%	20.2%	20.9%	21.0%	10.0%

事務事業名及び主な活動内容	事務事業に対する評価
<p>① 家庭・地域・学校が一体となった子どもの教育の推進</p> <p>「伸ばせ！七尾っ子プロジェクト」 のばプロ子育て座談会実施 計3回 (平成26年7月3日～平成26年11月25日)</p> <p>「毎月7日は七尾っ子の日」の定着推進 のばプロ子育てセミナーの開催</p>  <p>地域教育力向上委員会 学校・地域・保護者の連携のため、中学校区ごとに委員会を組織 構成員：学校代表（小・中）、学校評議員、保護司、PTA 青少年健全育成推進員、子ども会、安全パトロール隊、町会長 スポーツ指導者 など</p> <p>七尾市PTA連合会の運営支援 保護者活動の支援による児童生徒の健全育成、教育行政への参画</p> <p>「わたしたちのななお」の活用 小学3年～4年生 社会科副読本 (※平成21年度以降は、支給ではなく貸与としている。)</p> <p>わく・ワーク体験（キャリア教育） 中学2年生による市内企業等における職場体験 市内6校、491人参加</p>	<p>小中学校の教員と保護者が「子育て座談会」を通して交換をしている。</p> <p>学校と地域組織の連携により、地域の子どもたちに関する情報交換がおこなわれるとともに、小中学校間の連携も進んでいる。</p> <p>市PTA連合会との更なる連携が望まれる。</p> <p>身近な教材として、七尾市の概要を掲載して活用している。</p> <p>生徒が希望する地元企業の協力もあり、職業観が育まれてきている。</p>

② 豊かな心の教育の推進

ふるさと伝統芸能子ども発表会

平成26年11月30日（七尾サンライフプラザ大ホール）

参加人数 1,300人

地域と連携した伝統芸能の継承



4回目の開催となり、地域に伝わる芸能や文化を全小学校が発表し、地域と連携した取組みが推進されている。

児童環境学習活動発表会

平成26年11月28日（七尾サンライフプラザ）

総合的な学習の時間等を活用した環境学習の推進

小学校6年生の環境学習が定着してきた。地域の環境に関心を持つ児童が増えてきた。

赤ちゃんふれあい教室の実施

人と人との関わりを通じた豊かな心の育成

田鶴浜小学校（平成26年7月4日、9月12日）

参加者：小学校5年生、赤ちゃんとその保護者

東湊小学校（平成26年6月6日、7月11日）

参加者：小学校5年生、赤ちゃんとその保護者

天神山小学校（平成26年6月11日、7月9日）

参加者：小学校5年生、赤ちゃんとその保護者

2年周期で実施校を巡回させる事で、ふれあう教育を効果的に運営し、赤ちゃんとのふれあいを通して、ヒューマン・コミュニケーションを学び、命の大切さなどを学び、積極的に人と関わる姿勢が育まれている。

合同音楽会の開催

小学4年生 平成26年11月7日（七尾サンライフプラザ大ホール）

中学2年生 平成26年11月15日（七尾サンライフプラザ大ホール）

児童生徒が音楽に親しみ、一体感が促されている。

立志の日記念事業

立志を祝い先人の経験等による自立の促進

市内6中学校で講演会（754名参加）

生徒の自立意識が促されている。

中学校私の主張発表大会の開催

市内中学校代表による発表大会の開催（各校持ち回り）
平成26年7月14日（朝日中学校）

七尾市教育奨励賞

小中学生の学習活動奨励のため優れた研究、創作等に対する顕彰
平成27年2月12日（教育活動をたたえるつどい）

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
団体の部	2団体	0団体	2団体	1団体
個人の部	27人	17人	15人	23人

少年科学館の管理運営

自然科学に関する資料の収集、管理及び利用による科学教育の振興

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
年間延べ入館者数	3,525人	休館	休館

社会教育指導員の設置

心の教育及び青少年家庭教育の推進など
非常勤 1名（週3日）

青少年リーダーの育成

リーダークラブの育成及び丸亀市等の青少年団体との交流
事業主体：七尾市少年団体連絡協議会



ジュニアウイングス・イン・アメリカ

市内中学生のアメリカ姉妹都市への派遣交流（8月）
カリフォルニア州モントレイ市 9名

ジュニアウイングス・イン・ジャパン

モントレイ市からの訪問受入れ交流（10月）
生徒11名、引率者3名

学校生活の実践活動を通じた体験など、豊かな思想と表現力が図られている。

児童、生徒の研究・創作に対する活動が期待され、引き続き学習の意識づけを図る。

今後、科学教育に対する振興と普及拡大が求められる。休館中であるが植物標本の資料整理を行っている。

知識と経験による各種事業の着実な推進が図られている。

様々な体験活動を通じた地道な育成活動が図られている。

青少年の積極性あるコミュニケーション能力と国際意識の向上が図られている。

事業の定着により、青少年の国際意識の向上が図られている。

七尾市・金泉市中学生交流事業

※金泉市側から事業中止の申出 → 平成26年度事業は中止
(平成26年4月に発生した旅客船沈没事故のため)

世界農業遺産子ども交流事業

新潟県佐渡市へ小学生5、6年生を派遣し、里山保全や環境保護の
取組みを学習

派遣：平成26年7月26日～7月29日 児童18名、引率者5名

日本の遊び文化教室運営支援

伝承遊びや物づくり体験を通じた子どもの健全育成

事業主体：石川県生涯学習インストラクターの会

平成26年度事業は中止したが、来年度以降は実施に向けて取り組む。

小学生の「能登の里山里海」への環境保護の意識が高まった。

貴重なボランティア指導者による地道な活動が展開されている。

③ 子どもの体力・健康づくりの推進

学校医の配置

学校保健安全法第23条の規定による学校医の配置

区 分	小学校	中学校
内科医（定期健康診断、就学时検診）	16名	7名
耳鼻科医	3名	3名
眼科医	4名	5名
歯科医	13名	7名
薬剤師（飲料水、プール、給食室、冬期空気検査）	12名	6名

法令の趣旨に沿った配置により、学校保健の的確な対応がされている。

児童生徒の定期健康診断等

学校保健安全法第13条の規定による児童生徒健康診断等の実施
ぎょう虫、尿検査など

法令の趣旨に沿って適正に実施されている。

児童生徒心臓検診

学校保健安全法第13条の規定による児童生徒心臓検診の実施
小学1年生（430人）、中学1年生（470人）

法令の趣旨に沿って適正に実施されている。

七尾市小中学校結核対策委員会

結核対策、指導の実施 開催回数 1回

適正に実施されている。

学校検診器具の維持管理

児童生徒用健康診断検診器具の滅菌処理

適正な実施されている。

日本スポーツ振興センター災害給付

掛金負担 小中学校児童生徒 4,036名（1人当たり821円）
給付実績 医療費給付 459件 4,210,415円

学校活動に関連した傷病に対し、適正に運営されている。

七尾市学校保健会の運営参画

学校における保健管理の徹底による教育活動の円滑化
事業主体：能登中部保健福祉センター

学校と医療、関係機関との連携が図られている。

「学校保健要覧」の作成

学校保健に関する統計情報を活用した保健活動の充実
作成部数 170部

学校保健に関する情報の整理が適正に行われている。

教育環境の測定と適正化

教育環境の適正化
空気濃度測定検査、水質検査

環境測定が適正に行われている。

学校給食施設設備の維持管理

単独調理方式（8校8箇所）
共同調理方式（11校4箇所＝田鶴浜、能登香島、山王、小丸山）
文部科学省の学校給食衛生管理基準に基づくドライ方式・ドライ運用の推進

栄養管理、衛生管理ともに適正に行われている。
ドライ方式の学校給食センターの調理業務等委託を開始した。

七尾市学校給食会の運営

安全安心な給食物資の安定供給、調理員研修会の開催など

安全な給食物資の安定供給が図られている。

学校給食の栄養管理

栄養教諭・学校栄養職員の配置（6人）
献立作成会議における統一献立の検討（学校給食会）

栄養職員の連携により、適正な栄養管理が行われている。

学校における食育の推進

給食や活動を通じた食育の推進
学校ごとに特色のある食に関する指導の実践
「七尾市食育推進計画」の推進（参画）

地産地消や食事作法など、食に関する様々な取り組みが行われているが、家庭への働きかけを強化する必要がある。

学校における地産地消の推進

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
石川県野菜の使用率	25.6%	24.7%	25.0%
算出根拠	品目割合	品目割合	品目割合

文部科学省の算出基準で地産地消を推進し、引き続き取り組む。

学校給食費の適正収納

給食費の収入状況（各年度3月末現在）

区分	平成25年度	平成26年度
納めるべき給食費の額	228,908,356円	221,765,742円
納付された額	227,901,618円	220,700,530円
差引未納額	45件 1,006,738円	41件 1,065,212円

保護者への周知や納入依頼、就学援助費支給制度の利用などに努めたが、未納額の増加した。

小学校体育行事の開催

委託先：七尾市学校体育研究会

事業名	対象学年	期日
水泳記録会	小5・6	7月24日
連合運動会	小6	10月1日
器械運動交歓会	小3	10月8日
サッカー交歓会	小5	10月15日

中学校体育行事の開催

委託先：七尾市中学校体育連盟

事業名	期日
七尾鹿島中学校陸上競技大会	5月28日
七尾市・七尾鹿島中学校体育大会	5月16日・17日
七尾市・七尾鹿島中学校新人体育大会	9月20日～23日

若林スポーツ賞及び若林スポーツ奨励賞

小中学生のスポーツ活動奨励のための顕彰

平成27年2月12日（教育活動をたたえるつどい）

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
若林スポーツ賞	団体	4団体	4団体	3団体
	人数	40人	29人	14人
	個人	7人	11人	17人
若林スポーツ奨励賞		104人	82人	101人

各種大会への参加支援

石川県中学校体育大会

北信越中学校総合競技大会（7種目出場）

ソフトテニス、バスケットボール、柔道、剣道、卓球、陸上

バドミントン

全国中学校体育大会

その他小中学生の北信越・全国レベルの大会

空手道、ソフトテニス、バドミントン

卓球、ミニバスケットボール、相撲、バレーボール

小中学生スポーツ及び文化大会参加補助金 4,198千円

小学生	北信越大会等 全国大会		補助率 1/2
中学生	中体連 又は 中文連関係	県大会 北信越大会等 全国大会	補助率 1/2
	その他	北信越大会等 全国大会	補助率 1/4

(対象経費) 交通費、宿泊費、大会参加費

(対象者) 選手、監督、コーチ等として登録された者

児童が運動を通して切磋琢磨し、交流による健全な成長が促されている。

生徒が運動を通して切磋琢磨し、交流による健全な成長が促されている。

優れた成績に対する顕彰を行うことにより、更なる少年スポーツの振興が図られている。

陸上競技100m、400mの若林スポーツ奨励賞選考基準を電気計時の記録にした。

様々な分野で少年スポーツの振興が図られている。

1 子ども教育の充実 (2) 教育環境の充実

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	24年度	25年度	26年度	25年度 数値目標	30年度 数値目標
中学校における不登校生徒の割合	不登校生徒への取組み状況を示す指標	3.09%	3.53%	3.46%	2.00%	1.00%

事務事業名及び主な活動内容	事務事業に対する評価																																																
<p>① 学校規模の適正化と教育環境の整備</p> <p>※児童生徒数の推移（各年5月1日現在 学校基本調査）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校の児童数</td> <td>2,750人</td> <td>2,652人</td> <td>2,599人</td> </tr> <tr> <td>中学校の生徒数</td> <td>1,582人</td> <td>1,490人</td> <td>1,422人</td> </tr> </tbody> </table> <p>小中学校施設の維持管理 学校施設職員の配置（校務員 19名） 東湊小学校保健室空調設備改修工事 山王小学校プールろ過装置ろ材入替工事 和倉小学校プールろ過装置ろ材入替工事 高階小学校FF暖房機修繕工事 七尾東部中学校厨房食器洗浄機取替工事 能登香島中学校校長室空調設備改修工事</p> <p>学校配当予算 学校長裁量による学校運営経費の執行</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>小学校（13校）</td> <td>38,988千円</td> </tr> <tr> <td>中学校（6校）</td> <td>27,642千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>学校図書館図書整備充実 小学校図書館図書の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書冊数（全校）</td> <td>73,845冊</td> <td>78,764冊</td> <td>81,622冊</td> </tr> <tr> <td>文部科学省基準達成割合</td> <td>91.4%</td> <td>95.7%</td> <td>98.3%</td> </tr> <tr> <td>文部科学省基準達成校数</td> <td>5校</td> <td>7校</td> <td>8校</td> </tr> </tbody> </table> <p>中学校図書館図書の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書冊数（全校）</td> <td>37,838冊</td> <td>40,093冊</td> <td>41,823冊</td> </tr> <tr> <td>文部科学省基準達成割合</td> <td>75.6%</td> <td>81.5%</td> <td>86.1%</td> </tr> <tr> <td>文部科学省基準達成校数</td> <td>—校</td> <td>—校</td> <td>—校</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	小学校の児童数	2,750人	2,652人	2,599人	中学校の生徒数	1,582人	1,490人	1,422人	小学校（13校）	38,988千円	中学校（6校）	27,642千円	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	蔵書冊数（全校）	73,845冊	78,764冊	81,622冊	文部科学省基準達成割合	91.4%	95.7%	98.3%	文部科学省基準達成校数	5校	7校	8校	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	蔵書冊数（全校）	37,838冊	40,093冊	41,823冊	文部科学省基準達成割合	75.6%	81.5%	86.1%	文部科学省基準達成校数	—校	—校	—校	<p>限られた予算内で、緊急度を踏まえた修繕を実施し、施設管理の適正化に努めている。</p> <p>限られた予算内で、適正に執行されている。</p> <p>引き続き、学校図書予算の充実を図るとともに、蔵書標準に満たない学校を重点的に予算配分するなど考慮していく。</p>
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																														
小学校の児童数	2,750人	2,652人	2,599人																																														
中学校の生徒数	1,582人	1,490人	1,422人																																														
小学校（13校）	38,988千円																																																
中学校（6校）	27,642千円																																																
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																														
蔵書冊数（全校）	73,845冊	78,764冊	81,622冊																																														
文部科学省基準達成割合	91.4%	95.7%	98.3%																																														
文部科学省基準達成校数	5校	7校	8校																																														
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																														
蔵書冊数（全校）	37,838冊	40,093冊	41,823冊																																														
文部科学省基準達成割合	75.6%	81.5%	86.1%																																														
文部科学省基準達成校数	—校	—校	—校																																														

学校図書館司書の配置

司書教諭、図書館担当教諭及び図書館と連携した図書館運営
学校図書館司書（小・中学校） 専任9名、兼任5名 計14名

理科教育等備品の整備

理科教育用教材等の計画的な整備
有磯小学校、高階小学校、朝日中学校、中島中学校

学校ネットワーク環境の構築

小中学校児童生徒1人1台パソコンの維持管理
教育用フィルタリングソフトによるネットワークの監視
校務用パソコンの導入

小丸山小学校建設工事

（グラウンド整備、グラウンド照明設備、外溝整備）

学校建設積立基金積立金

学校施設建設資金の計画的な積立
平成26年度末残高 314,107千円

七尾市立小中学校再編整備計画の推進

中学校整備計画案（市内4校）の着実な推進

・西エリア

平成26年6月 中島町地域づくり協議会より中島市民センターの
改修工事による利活用を要望

・南エリア

平成26年6月 南エリア中学校統合協議会
(田鶴浜校区の合流について)

7月 南エリア中学校統合協議会
(校名について)

8月 七尾中学校統合協議会
(制服について)

10月 七尾中学校統合協議会
(校歌・校章について)

12月 七尾中学校統合協議会
(通学路について)

平成27年3月 七尾中学校統合協議会
(通学路・校歌・校章について)

児童生徒への適正な指導により、読書の定着が図られてきている。

計画的な設備備品の導入や更新をしている。

児童生徒が利用する情報機器が適切に管理されている。
校務用パソコンの導入により、業務の効率化と情報セキュリティが強化された。

小学校の改築により、教育環境の改善を図っている。

学校施設の整備に向けて適正な資金管理が行われている。

中島中学校は、耐震基準をクリアする公共施設の利活用を提案

七尾中学校統合協議会を設立し、円滑な中学校の再編を推進している。

② 就学機会の公平性の確保

スクールバスの運行

区分	学校名	路線数	運行方式等
小学校	徳田	1 路線	運行委託（やまびこ号）
	有磯	2 路線	運行委託
	北星	2 路線	運行委託
	田鶴浜	4 路線	全部委託
	中島	7 路線	運行委託
	能登島	6 路線	全部委託
中学校	七尾東部	6 路線	運行委託
	朝日	1 路線	運行委託（やまびこ号）
	能登香島	6 路線	全部委託

スクールバスの運行により、児童生徒の通学にかかる負担が軽減されている。

遠距離通学児童生徒への支援

区分	学校名	対象児童数	助成内容
小学校	小丸山	5 8 人	路線バス
	東湊	1 1 人	路線バス
中学校	七尾東部	1 5 人	自転車
	田鶴浜	3 5 人	自転車
	中島	4 8 人	委託バス、自転車、鉄道
計		1 6 7 人	

児童生徒の通学にかかる負担と、保護者の経済負担が軽減されている。

要保護及び準要保護児童生徒への就学援助

申請に基づく学用品費、新入学費、校外活動費、修学旅行費の支給
認定児童生徒数

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
小学校	要保護	0 人	0 人	0 人
	準要保護	2 2 9 人	2 4 0 人	2 2 2 人
中学校	要保護	0 人	0 人	0 人
	準要保護	1 6 9 人	1 5 4 人	1 4 0 人
計		3 9 8 人	3 9 4 人	3 6 2 人

保護者への周知により、児童生徒に対する適正な就学支援が行われている。

特別支援学級の運営

学校教育法第 8 1 条の規定に基づく設置

種別（自閉症・情緒障害、知的障害、肢体不自由）

小学校 1 9 学級

中学校 6 学級

法令の趣旨に沿って、適正な設置運営が行われている。

特別支援教育児童生徒への就学奨励

学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品購入費
新入学学用品費（1学年のみ）の支給

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
小学校	24人	19人	25人
中学校	9人	9人	9人
計	33人	28人	34人

法令の趣旨に沿って、適正な就学支援が行われている。

特別支援教育支援員の配置

特別支援学級児童生徒、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）

区 分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
小学校	9校	17人	9校	17人	10校	17人
中学校	2校	3人	3校	4人	3校	5人

対象児童生徒に対応した適正人数の配置により、概ね円滑な学校運営が行われている。

七尾市奨学金の支給

高等学校入学時の一時金 5万円を上限として予算の範囲内

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
奨学金支給者数	14人	23人	17人

出身中学校長の推薦及び奨学金支給審査委員会の審査による

審査会の決定を通じて、適正に支給されている。

石川県へき地教育振興会

県内11市町によるへき地教育の振興
有磯小、北星小、高階小

県内市町の連携により、へき地教育の振興が図られている。

保護者の申し入れに対応した就学機会の確保

指定学校の変更及び区域外就学の状況

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
小学校	指定校変更	243人	272人	277人
	区域外就学	31人	31人	42人
	計	274人	303人	319人
中学校	指定校変更	59人	57人	67人
	区域外就学	23人	22人	29人
	計	82人	79人	96人

国の指針に沿って、保護者の意向を反映し、就学機会が図られている。

特別認定校制度の実施

高階小学校

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
受入れ児童数(受入れ総数)	1人(4人)	0人(4人)	2人(6人)

特別認定校の制度を更に周知する必要がある。

私立幼稚園の運営支援

※幼稚園園児数の推移（各年5月1日 学校基本調査）

区分	幼稚園名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
私立	七尾	54人	46人	44人
	大谷済美			
	聖母	32人	24人	27人
計		86人	70人	71人

私立幼稚園振興事業費補助金の交付（2園）

私立幼稚園運営費補助金の交付（2園）

27年度から法令の改正に伴い、私立幼稚園の運営支援は変更となる。

幼稚園就園奨励費 《国》

幼稚園保育料（月18,000円～20,000円）に対する軽減措置

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
支給対象園児数	31人	40人	54人
支給金額	1,647千円	2,128千円	3,220千円

公平な幼稚園教育の提供に資している。

③ 児童生徒の安全対策といじめや不登校対策の推進

※不登校児童生徒の状況（年間30日を超える欠席者）

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	児童数	9人	10人	8人
	全児童数割合	0.34%	0.38%	0.30%
中学校	生徒数	46人	51人	50人
	全生徒数割合	3.09%	3.53%	3.46%

スクールカウンセラー・心の教室相談員の配置

スクールカウンセラー 10校（中学校6校、小学校4校） 3名（県費）

交流支援員 1校（小学校1校） 1名

親と子のなんでも電話相談室「オアシスライン」の開設と周知

13時～16時（月～金） 相談員 5名（交替制）

青少年等延べ利用件数 467件 設置機関：七尾市青少年育成センター

電話相談による青少年の悩み等に対する早期対策が行われている。

いじめ撲滅PTA実践活動

委託先 七尾市PTA連合会

校区別教育フォーラムの開催など

校区ごとに、実情に応じた取組みが行われているが、更に小グループで話し合う場を作れば良い。

人間関係エクササイズ

人間関係を構築することが苦手な生徒への支援 各中学校年2回

適応指導教室「わかたけ」の運営

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
年間延べ相談回数	495回	693回	762回
年度末入所児童生徒数	6人	8人	16人

不登校児童生徒の学校への復帰や、進学に重要な役割を担っている。

1 子ども教育の充実 (3) 学校教育体制の強化

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	24年度	25年度	26年度	25年度 数値目標	30年度 数値目標
学力調査で市平均が県平均を上回る教科数(調査科目)	基礎学力の定着度を示す指標	11教科	10教科	10教科	10教科	すべての教科
授業に対する児童生徒の理解度	指導体制の充実度を示す指標	52.9%	48.6%	52.6%	50.0%	70.0%

事務事業名及び主な活動内容	事務事業に対する評価																																																														
<p>① 学習内容の確実な定着</p> <p>国学力・学習状況調査等の実施 全国学力・学習状況調査（平成26年4月22日実施）《国》 石川県基礎学力調査（平成26年4月21日実施）《県》 七尾市学力到達度調査（平成27年1月9日小学校実施）《市》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生活調査</th> <th>国語</th> <th>算数 (数学)</th> <th>理科</th> <th>社会</th> <th>英語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小3</td> <td>—</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小4</td> <td>□</td> <td>□△</td> <td>□△</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小5</td> <td>—</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小6</td> <td>○</td> <td>○△</td> <td>○△</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>中1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>中2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>中3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> </tr> </tbody> </table> <p>(○=国調査、□=県調査、△=市調査)</p> <p>全国調査、県調査のうち、市平均が県平均を上回った教科(調査科目)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>小4</td> <td>国語、算数 (2/2教科)</td> </tr> <tr> <td>小6</td> <td>国語A、国語B、算数A、算数B、社会、理科 (6/6教科)</td> </tr> <tr> <td>中3</td> <td>国語B、数学A (2/7教科)</td> </tr> </tbody> </table> <p>七尾市立中高連携事業における英語力調査 (平成26年12月12日実施) 放課後学習支援事業(和倉小学校)</p> <p>学力向上推進会議の開催 開催回数 4回 各校の情報交換と、統一した取組みの推進</p>		生活調査	国語	算数 (数学)	理科	社会	英語	小3	—	△	△	—	—	—	小4	□	□△	□△	—	—	—	小5	—	△	△	—	—	—	小6	○	○△	○△	□	□	—	中1	—	—	—	—	—	—	中2	—	—	—	—	—	—	中3	○	○	○	□	□	□	小4	国語、算数 (2/2教科)	小6	国語A、国語B、算数A、算数B、社会、理科 (6/6教科)	中3	国語B、数学A (2/7教科)	<p>学習内容の確実な定着に向け、学力調査結果の分析と指導法の改善が進められている。</p> <p>学力向上に向けた、全市的な周知と徹底が図られている。</p>
	生活調査	国語	算数 (数学)	理科	社会	英語																																																									
小3	—	△	△	—	—	—																																																									
小4	□	□△	□△	—	—	—																																																									
小5	—	△	△	—	—	—																																																									
小6	○	○△	○△	□	□	—																																																									
中1	—	—	—	—	—	—																																																									
中2	—	—	—	—	—	—																																																									
中3	○	○	○	□	□	□																																																									
小4	国語、算数 (2/2教科)																																																														
小6	国語A、国語B、算数A、算数B、社会、理科 (6/6教科)																																																														
中3	国語B、数学A (2/7教科)																																																														

英語指導助手（ALT）の中学校全校配置

中学校の英語科、小学校の外国語活動における活用

JETプログラム 6名 平成26年8月～

(出身国 米・豪・南アフリカ)



児童生徒が生きた英語に触れる機会の拡大が行われた。

② 指導体制の確立

学校指導訪問の実施

学校訪問 延べ27回（平成26年5月21日～12月5日）

※各校訪問複数化による指導効果の年度内検証

各学校への原則年2回の訪問により、指導事項の早期改善が行われている。

校長研修会・教頭研修会の運営

教育委員会、中能登教育事務所からの指示伝達、連絡調整、独自研修等

開催回数 各々月1回

全市的な取組みの浸透と一定教育水準の確保が図られている。

学校組織力向上研修会等の実施

対象 校長、教頭、教務主任、研究主任、進路指導主事、生徒指導主事等

4月 3日	今年度の方針及び確認事項
10月3日	学校経営研修会
3月26日	次年度の方向性

ニューリーダー、ミドルリーダー、トップリーダー研修会

組織的な学校経営を推進するシステムは構築されたが、職員の共通理解と取組みの徹底が必要である。

指定研究による指導力の向上 《国・県》

いしかわ道徳教育推進事業	天神山小学校 七尾東部中学校
いしかわ学びの指針12か条推進校指定事業	御祓中学校
課題発見力育成事業	徳田小学校

指定研究により、学校ぐるみでの指導力の向上が図られている。

市学力向上推進事業 《市》

能登香島中学校、石崎小学校、和倉小学校、能登島小学校、小丸山小学校

各種学力調査から見て、各校の学力の定着が図られた。

七尾市立学校職員表彰

教職員の意欲向上と学校の活性化による学校教育の振興

被表彰者 5名（小学校4名・中学校1名、男2名・女3名）

平成27年2月12日（教育活動をたたえるつどい）



教職員の意識と資質の向上が期待できる。

児童生徒による授業評価

学習指導上のコミュニケーションや授業の進め方等について、教職員ごとに児童生徒のアンケートを実施

児童生徒の率直な意見による授業評価で、確実な改善が図られてきている。

【小学校】

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
肯定評価（よく～）	57%	51%	56.8%
おおむね肯定評価	37%	44%	39.0%
おおむね否定評価（あまり～）	5%	4%	3.9%
否定評価	1%	1%	0.3%

【中学校】

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
肯定評価（よく～）	52%	48%	51%
おおむね肯定評価	42%	43%	41%
おおむね否定評価（あまり～）	5%	7%	6%
否定評価	1%	2%	2%

学校教職員成人病等検査

定期健康診断、心電図検査、血液検査、胃部X線検査

受診者数 201人

法令の趣旨に沿って適正に行われている。

七尾市教育研究所の運営

所長1名、相談員3名、学習指導開発指導員1名の配置

「授業裏ワザ」の増刷

教育研究の拠点として、意義ある研究が進められている。

③ 開かれた学校づくりと学校力の向上

特色ある学校づくり活性化プロジェクト

小学校

学校名	事業内容
小丸山	伝承遊び・伝統体験、外国の子どもと交流等
山王	でか山教室、七尾まだら教室、歴史体験等
天神山	読み聞かせ、環境学習体験、伝承遊び等
徳田	歴史や環境調べ、学校菜園、親子食育教室等
東湊	農業体験、火おこし、高齢者・保育園児との交流等
石崎	地域民謡学習、体験事業等
和倉	文化体験、地域学習、町中交流等
有磯	地域学習、農業体験、環境学習等
北星	親子ゴミ拾い、農業体験、野鳥観察会等
高階	伝承の継承、菜の花米プロジェクト環境学習等
田鶴浜	外部講師による鼓笛指導、発表体験等
中島	マーチング練習、学校行事での発表等
能登島	歴史・文化・環境調べ、地域交流事業等

中学校

学校名	事業内容
御祓	山野寺寺院群探訪、ボランティア活動等
七尾東部	ボランティア清掃
朝日	地域住民、特別支援学校、小学校との交流等
能登香島	ヒューマンコミュニケーション能力育成研修、ボランティア清掃等
田鶴浜	習熟度別少人数授業支援
中島	地域施設等でのボランティア活動

学校評議員の設置

地域社会の支援と協力による開かれた学校づくり

評議員数 63人（小学校 41人、中学校 22人）

学校関係冊子の作成

「学校運営概要」（市立小中学校の運営方針等） 40部

「シラバス」の作成と保護者への配布

学校ごとに地域の実情にあった特色ある取組みが定着している。

地域の人材の活用により、適切な指導助言が得られている。

学校運営に対する意識付けがされている。

2 生涯学習・スポーツの振興 (1) 生涯学習の推進

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	24年度	25年度	26年度	25年度 数値目標	30年度 数値目標
市民一人当たり年間公民館利用回数	生涯学習施設の利用度を示す指標	4.0回	4.2回	4.4回	4.2回	4.5回
市民一人当たり年間利用冊数	図書館の利用度を示す指標	7.0冊	6.8冊	6.8冊	7.0冊	8.0冊

事務事業名及び主な活動内容	事務事業に対する評価																																																
<p>① 生涯学習活動の推進</p> <p>生涯学習施設の管理運営 年間延べ利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふれあいセンター山びこ荘</td> <td>8,191人</td> <td>7,969人</td> </tr> <tr> <td>サンビーム日和ヶ丘</td> <td>30,001人</td> <td>35,872人</td> </tr> <tr> <td>田鶴浜農村環境改善センター</td> <td>33,355人</td> <td>41,647人</td> </tr> <tr> <td>能登島生涯学習総合センター</td> <td>26,632人</td> <td>30,356人</td> </tr> <tr> <td>能登島伝承の館</td> <td>271人</td> <td>237人</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンビーム日和ヶ丘における映画自主上映 自主上映及び特別上映の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自主上映の回数</td> <td>12本 51回</td> <td>12本 51回</td> </tr> <tr> <td>特別上映の回数</td> <td>0本 0回</td> <td>0本 0回</td> </tr> <tr> <td>年間延べ入場者数</td> <td>1,618人</td> <td>1,936人</td> </tr> </tbody> </table> <p>市民大学講座の開催 開催場所：七尾サンライフプラザ等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間延べ開催回数</td> <td>157回</td> <td>190回</td> </tr> <tr> <td>年間延べ参加者数</td> <td>2,445人</td> <td>2,757人</td> </tr> </tbody> </table> <p>生涯学習グループ講座の開催 開催場所：七尾サンライフプラザ等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間開催講座数</td> <td>600講座</td> <td>577講座</td> </tr> <tr> <td>年間延べ参加者数</td> <td>5,924人</td> <td>6,059人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	平成25年度	平成26年度	ふれあいセンター山びこ荘	8,191人	7,969人	サンビーム日和ヶ丘	30,001人	35,872人	田鶴浜農村環境改善センター	33,355人	41,647人	能登島生涯学習総合センター	26,632人	30,356人	能登島伝承の館	271人	237人	区分	平成25年度	平成26年度	自主上映の回数	12本 51回	12本 51回	特別上映の回数	0本 0回	0本 0回	年間延べ入場者数	1,618人	1,936人	年度	平成25年度	平成26年度	年間延べ開催回数	157回	190回	年間延べ参加者数	2,445人	2,757人	年度	平成25年度	平成26年度	年間開催講座数	600講座	577講座	年間延べ参加者数	5,924人	6,059人	<p>生涯学習の拠点として多くの市民利用が図られており、引き続き安全で親しみやすい施設運営を進める。</p> <p>優れた映画の提供を図り、新たな利用者やリピーターの確保のため、今後もより魅力的な番組の提供に努めたい。</p> <p>市民に幅広い学習機会の提供が図られている。</p> <p>誰もが自発的に生涯学習に取り組むことを支援する。</p>
施設名	平成25年度	平成26年度																																															
ふれあいセンター山びこ荘	8,191人	7,969人																																															
サンビーム日和ヶ丘	30,001人	35,872人																																															
田鶴浜農村環境改善センター	33,355人	41,647人																																															
能登島生涯学習総合センター	26,632人	30,356人																																															
能登島伝承の館	271人	237人																																															
区分	平成25年度	平成26年度																																															
自主上映の回数	12本 51回	12本 51回																																															
特別上映の回数	0本 0回	0本 0回																																															
年間延べ入場者数	1,618人	1,936人																																															
年度	平成25年度	平成26年度																																															
年間延べ開催回数	157回	190回																																															
年間延べ参加者数	2,445人	2,757人																																															
年度	平成25年度	平成26年度																																															
年間開催講座数	600講座	577講座																																															
年間延べ参加者数	5,924人	6,059人																																															

公民館の管理運営

御祓、袖ヶ江、徳田、矢田郷、東湊、西湊、石崎、和倉、北大呑、南大呑、崎山、高階、田鶴浜、相馬、金ヶ崎、西岸、鉦打、熊木、中島、豊川、笠師保、能登島（22館）

館長22人、副館長37人、公民館主事22人、事務補助14人

公民館運営協議会委員 387名

公民館施設の利用状況

年 度	平成 25 年度	平成 26 年度
年間延べ利用回数	15,563回	15,569回
年間延べ利用者数	238,111人	244,562人

自然と共生の未来づくり

子どもたちに自然を愛する心を育むための野外活動の展開

環境づくり勉強会、里山調査を通じて自然に親しむ機会を創出

公民館自主活動の支援

公民館運営計画に基づく行事・事業の実施

年間総事業費（22館）52,604千円（うち補助金23,000千円）

地域の特色を活かした公民館活動の展開

公民館名	事 業 内 容
御祓	大運動会、地域づくり事業、各種体育大会など
袖ヶ江	大運動会、文化祭、ふるさと探検隊など
徳田	徳田地区美術作家展、大運動会、各種講座・体育大会など
矢田郷	YAYA フェスタ in やたごう、七尾城まつり、大運動会など
東湊	いこいの一日、盆フェスタ・イン東湊、社会体育大会など
西湊	西湊まつり、体育レクリエーション大会など
石崎	石崎「海の盆」、石崎わんぱく倶楽部合宿など
和倉	町民体育レクリエーション大会、かいかい祭り写生大会など
北大呑	古稀成人式、北大呑祭、グラウンドゴルフのつどいなど
南大呑	敬老文化祭、アユに親しむ、球技大会など
崎山	健康フェスティバル、崎山灯台まつり、各種講座など
高階	高階まつり、各種体育大会、高階っ子支援など
田鶴浜	敬老会、田鶴浜まつり、親子体験学習、各種講座など
相馬	雪あそび合宿、敬老会、正月用寄せ植え教室など
金ヶ崎	金ヶ崎まつり&敬老会、3世代交流研修バス、スキー教室
西岸	敬老会、別所岳フォーラム、地区社会体育大会など
鉦打	敬老会、社会体育大会、鶴亀クラブ大運動会など
熊木	くまきファミリーフェスティバル、敬老会、各種体育大会、ランチーズなど
中島	敬老会、社会体育大会、健康ふれあいデイなど
豊川	敬老会、社会体育大会、健康お達人教室など
笠師保	敬老会、社会体育大会、史跡保全美化運動など
能登島	運動会、市民文化祭 in のとじま、地引網、ミステリー列車など

地域の拠点施設として地域住民のふれあいとコミュニティ活動の推進が図られた。

子どもたちは、地域の自然の豊かさに触れ、自然を愛する心が徐々に育まれた。

地域ごとに特色ある事業展開が行われた。

公民館連絡協議会の運営支援

生涯学習時代に即応した公民館施設整備と事業の促進
生涯学習充実のための調査研究、情報収集と交歓研修の実施など

社会教育委員の設置

社会教育法に基づく委員の設置
委員 10人、年間会議開催回数 5回

七尾市成人式の開催

2015年1月11日（七尾サンライフプラザ大ホール）
新成人対象者数553名のうち506名参加
実施主体：七尾市成人式実行委員会



公民館相互の連絡協力を図り、公民館の活性化に努めた。

東海北陸社会教育研究大会等に参加し、意見交換や自己研鑽に努めた。

新成人の手で企画立案しており、参加型の成人式として定着し、年々意義の高まりが図られている。

社会教育団体の運営支援

七尾市女性団体協議会	市内20地区女性会
七尾市青年団協議会	七尾市成人式ボランティアなど
七尾市少年団体連絡協議会	七尾市子ども大会（市内7団体）
七尾市子ども会連合会	136子ども会（3,157人）
七尾市みどりの少年団	市内3団体

地域や年代、立場等に
応じた社会教育活動を進めるため、引き続き支援を要する。

② 図書館サービスの充実

重点目標

- ・コミュニティづくりをささえる場
地域課題の解決を支援し、市民ニーズに添った情報提供が出来る図書館を目指す
- ・市民の学びの場
子どもから高齢者が集い知識を深め楽しく学ぶことが出来る居心地よい図書館を目指す
- ・子どもの成長、子育てを支援する場
子どもの成長にあった読書活動を推進し楽しく親しまれる図書館を目指す
- ・出会いと交流の場
人と本が出会い、人と人がつながり交流と創造を育む図書館を目指す

図書館の管理運営

蔵書の状況

図書館名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
中央図書館	197,070 冊	200,702 冊	203,324 冊
本府中図書館	86,801 冊	88,908 冊	90,554 冊
田鶴浜図書館	42,199 冊	43,643 冊	45,041 冊
中島図書館	52,571 冊	54,617 冊	54,379 冊

図書貸出利用の状況

図書館名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
中央図書館	167,444 冊	165,747 冊	156,824 冊
うち移動図書館車	46,872 冊	48,256 冊	46,577 冊
本府中図書館	128,363 冊	110,414 冊	114,234 冊
田鶴浜図書館	55,367 冊	57,618 冊	54,535 冊
中島図書館	50,861 冊	56,035 冊	53,636 冊

※移動図書館車は、資料室移転のため5月～8月は運休

視聴覚資料貸出利用の状況

図書館名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
中央図書館	7,496 点	7,933 点	6,956 点
本府中図書館	19,799 点	15,592 点	15,223 点
田鶴浜図書館	5,020 点	5,096 点	4,157 点
中島図書館	4,113 点	4,427 点	4,417 点

図書館協議会の運営

図書館法第14条の規定による助言及び提言
委員数10人(男4人、女6人)、年間会議開催回数 3回

重点目標と方針を明確にしたうえで、図書館サービスの充実と市民に親しまれる図書館を目指すための施策の展開を図っている。

情報発信の場であることを意識するとともに、幅広い年齢層と多様なニーズに添った図書資料の収集を行っている。

本と人をつなげるための展示企画やイベントを積極的に行い、親しみやすく利用しやすい環境づくりが図られている。

移動図書館車を活用して公民館、放課後児童クラブなど各種団体への貸出を行い、図書館利用の向上と子どもの読書活動の推進が図られている。

図書館運営に対する適正な指導、助言及び提言がされている。

利用者の利便性

ホームページによる蔵書検索、図書の予約など市内4館で利用できる貸出、返却、リクエスト、予約サービスを行っている。また、蔵書していない図書資料は、北陸三県及び愛知、岐阜県の図書館から相互貸借サービスにより取り寄せて提供している。

また、利用者の課題の解決を支援するための相談（レファレンス）の対応もしている。

視覚障がい者サービス

全国の図書館からの点字、録音図書及び蔵書資料での貸出対応

（蔵書資料 CD2,711点、カセットテープ257点）

対面朗読サービス（読み聞かせ）

高齢者サービス

本の活字を大きくした大活字本の導入

拡大読書機サービス（本の活字を拡大する機器）

対面朗読サービス（読み聞かせ）

資料整理室、移動図書館拠点施設及び杉森久英記念文庫の移転

・資料整理室、移動図書館車拠点施設を旧北嶺中学校に移転し、移動図書館車『本はともだち号』を、公立図書館が近くにない地域の小中学校にたくさんの絵本をのせて届けるサービスをしている。

・杉森久英記念文庫（旧有隣保育園）

平成9年10月以降から故杉森久英氏より寄贈された、図書資料10,487冊、雑誌3,393冊、遺品227点など所蔵し、広く市民に一般公開している。

図書館友の会の運営

会員数：364人（平成27年3月現在）

活動内容：図書館まつり等行事支援、史跡探訪、郷土図書の出版など

読書の普及と読書会等の開催

読書ボランティアグループの活動支援及び協力要請

（7読書会、7ボランティアグループ）

図書館まつりの開催

実施日：平成26年7月6日

内容：小学生としょかんクラブの発表会、本のバザール、クイズラリー
音楽鑑賞会など

参加者：1,974人

文化講座と本を読む仲間のつどいの開催

・文化講座「知られざる七尾を歩こう」

実施日：平成26年9月28日（講師：網谷 行洋氏）

市民サービスの利便性を追求し利用しやすい図書館づくりに努めている。

身体障がい者や高齢者の利用促進を図るためのサービス提供に努めている。

杉森久英氏の著書『天皇の料理番』がドラマ化されたことを機に企画展示を行い七尾出身の作家であることをアピールした。

各種文化活動の実施により地域文化の振興に寄与し会員相互の親睦と教養の向上を図った。

各種読書会等の活動により図書館活動の一層の理解を深めた。

図書館と市民が共催した事業として定着し図書館を利用する機会づくりになっている。

郷土の作家や文化に関心をもち、人と本が出会い、人と人がつながる交流と

参加者：9人

・本を読む仲間のつどい「鏡花を読んで40年」

実施日：平成27年3月14日（講師：小林 弘子氏）

参加者：112人

創造を育む場となることに努めている。

③ 子どもの読書活動の推進

学校図書館等への支援

小中学校の図書の貸出（移動図書館車による児童、生徒への個人貸出や学級文庫、各館リクエスト貸出）

学校図書館司書研修の支援

市立図書館司書との合同研修会の開催

実施日：平成27年1月21日

テーマ：ビブリオバトル講習会

講師：石川県立図書館 上田 敬太郎氏



学校図書館の活動の支援、連携する体制づくりに努めている。

ブックスタート事業

対象：3～4ヵ月児とその保護者（322組）

実施日：毎月1回健診時

内容：絵本2冊、おすすめ絵本リスト、図書館利用案内等の配布、読書ボランティアによる絵本の読み聞かせ

場所：七尾サンライフプラザ保健センター



早いうちから読み聞かせの重要性を保護者に説明し、子どもが絵本と出会うファーストブックとしての機会づくりに取り組んでいる。

ブックリスト事業

対象：1歳6ヵ月児とその保護者（358組）

実施日：毎月1回健診時

内容：図書館職員が選書したブックリストの配布と職員による絵本の読み聞かせ

場所：七尾サンライフプラザ保健センター

年齢に応じた本を紹介するため、良本の選書を行い「おすすめ図書」のリストを発行し、本と出会う機会づくりに取り組んでいる。

読書の普及とおはなし会等の開催

図書館招待、読書スタンプラリー、定例おはなし会（乳幼児向け、幼児から小学生向け）、季節のおはなし会、工作教室、かがくであそぼう、親子選書ツアー、本の福袋、むかしあそび大会、絵本の中のお菓子作りなど

各種企画に取り組み、幼少期から読書活動が定着するよう図られている。



子ども読書の日記念講演会の開催

実施日：平成26年4月19日（土）（子ども読書週間）

テーマ：「絵本のことば」（講師：坪内 啓子氏）

参加者：20人



としょかんクラブ

小学生を対象に、本を楽しみ体験することで読書習慣の定着を目指すブックトーク、ストーリーテリング、プログラミング体験、里山里海調べ学習、アニメーションなど参加人数延べ125名

子どもの読書活動推進連絡会議

- ・「第二次七尾市子どもの読書活動推進計画」（計画期間：平成23年度～平成27年度）
- ・計画の進捗状況の検証と着実な推進
委員数 9人（男1人、女8人）、年間会議開催回数 3回
- ・読書に関するアンケート調査の実施
市内全小学校4年生の保護者
幼稚園の年長児を持つ保護者及び小学3年生・5年生・中学2年生

「七尾市夏休み読書月間」（8月1日～8月31日）における啓発
図書館が選定したおすすめ本及び各図書館でのイベントを掲載したチラシを各保育園や幼稚園、小中学校に配布

家読（うちどく）の推進

毎月23日を「ななお家読（うちどく）の日」として推進
「うちどくノート」を小中学校や図書館を通じて、児童、生徒に配布

子どもの読書の必要性を感じてもらい、親子の読書の普及に努めている。

児童期における本の紹介、選書により、本を読む楽しさと完成の育成に努めている。

アンケート（毎年）の結果に基づき、計画の進捗状況、課題などの検証を行い、保護者・児童生徒への読書の意識づけを図っている。

学校、保護者との連携を通して、子どもたちの家庭読書、家族読書の普及、推進がされている。

2 生涯学習・スポーツの振興 (2) スポーツの振興

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	24年度	25年度	26年度	25年度 数値目標	30年度 数値目標
成人の週1回以上スポーツ実施率	スポーツの振興を示す指標	20.3%	19.8%	19.0%	40.0%	50.0%

事務事業名及び主な活動内容	事務事業に対する評価																												
<p>① 生涯スポーツ活動の推進</p> <p>七尾市スポーツ振興審議会 スポーツ基本法第31条の規定による審議会の設置運営 委員数 8人、年間会議開催回数 1回</p> <p>スポーツ推進委員の活動 スポーツ基本法第32条第2項の規定によるスポーツ推進委員の設置 生涯スポーツの振興のための諸活動（行事等での指導・助言など） 委員数 28人</p> <p>市民スポーツ・レクリエーション祭（第9回） 事業主体 市民スポーツ・レクリエーション祭実行委員会 開催期日 平成26年10月13日（主会場：七尾城山陸上競技場） 大会内容 ウォーキング、体力テスト、リレーマラソンなど 参加人数 1,301人</p> <p>総合型地域スポーツクラブ等の運営支援 活動内容</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>NASPO</td> <td>バドミントン、フレッシュテニス ジュニアトランポリン、3B体操など 18教室</td> </tr> <tr> <td>田鶴浜スポーツクラブ</td> <td>ミニバスケットボール、学童野球 ジュニアバドミントンなど18教室</td> </tr> <tr> <td>なかじまスポーツクラブ</td> <td>学童野球、ジュニアバドミントン ミニバスケットボールなど19教室</td> </tr> <tr> <td>能登島少年少女スポーツクラブ</td> <td>野球、バレーボール、ソフトテニス 相撲、空手の5団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>会員数の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NASPO</td> <td>279人</td> <td>229人</td> <td>224人</td> </tr> <tr> <td>田鶴浜スポーツクラブ</td> <td>423人</td> <td>432人</td> <td>487人</td> </tr> <tr> <td>なかじまスポーツクラブ</td> <td>363人</td> <td>354人</td> <td>316人</td> </tr> <tr> <td>能登島少年少女スポーツクラブ</td> <td>90人</td> <td>110人</td> <td>113人</td> </tr> </tbody> </table>	NASPO	バドミントン、フレッシュテニス ジュニアトランポリン、3B体操など 18教室	田鶴浜スポーツクラブ	ミニバスケットボール、学童野球 ジュニアバドミントンなど18教室	なかじまスポーツクラブ	学童野球、ジュニアバドミントン ミニバスケットボールなど19教室	能登島少年少女スポーツクラブ	野球、バレーボール、ソフトテニス 相撲、空手の5団体	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	NASPO	279人	229人	224人	田鶴浜スポーツクラブ	423人	432人	487人	なかじまスポーツクラブ	363人	354人	316人	能登島少年少女スポーツクラブ	90人	110人	113人	<p>スポーツの推進に対して適切な指導・助言がされている。</p> <p>活発な活動により、生涯スポーツ、ニュースポーツの普及が図られている。</p> <p>市民スポーツの普及・定着のきっかけづくりとしての効果が上がってきている。</p> <p>活動の活発化に伴い地域において市民スポーツの普及・定着が進んでいる。更に、幅広い年代での利用者の増加に向けた、積極的な取り組みが必要である。</p>
NASPO	バドミントン、フレッシュテニス ジュニアトランポリン、3B体操など 18教室																												
田鶴浜スポーツクラブ	ミニバスケットボール、学童野球 ジュニアバドミントンなど18教室																												
なかじまスポーツクラブ	学童野球、ジュニアバドミントン ミニバスケットボールなど19教室																												
能登島少年少女スポーツクラブ	野球、バレーボール、ソフトテニス 相撲、空手の5団体																												
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度																										
NASPO	279人	229人	224人																										
田鶴浜スポーツクラブ	423人	432人	487人																										
なかじまスポーツクラブ	363人	354人	316人																										
能登島少年少女スポーツクラブ	90人	110人	113人																										

その他スポーツ関係団体の運営支援

七尾市スポーツ少年団	各種少年スポーツ大会の運営 164名
七尾市学童野球連盟	学童野球大会の運営など 11チーム
石川県勤労者体育協会	勤労者を対象とした各種大会の運営など 年間65大会、3教室

少年スポーツ及び勤労者体育の維持・向上のため引き続き支援を要する。

② 競技スポーツの振興

七尾市体育協会の運営支援

石川県民体育大会への選手団派遣、競技力の強化、各種大会開催など
加盟競技団体 37団体

市内競技スポーツ推進の中核的な存在であり、更に活動の充実を図る。

七尾市武道協議会の運営支援

新春鏡開き式及び錬成初稽古の実施
平成27年1月3日（七尾武道館・七尾総合市民体育館）
協議会加盟8団体、370名の参加

武道競技人口の維持拡大を図るため、引き続き支援を要する。

石川県民体育大会への選手派遣と育成強化

第66回石川県民体育大会（内灘町他）
47競技中、七尾市では38競技、735名の参加
※第66回大会は悪天候により、順位なし
（前回第65回大会は男子総合9位、女子総合7位）

更なる競技レベルの向上を図る必要がある。

七尾市スポーツ賞

成績優秀者の顕彰による競技スポーツの振興（スポーツ基本法第20条）
表彰時期：毎年3月第3日曜日

スポーツの競技力向上に対する関心を持たせるため、引き続き顕彰の継続を要する。

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特別賞			
スポーツ賞	33人 1団体	18人 0団体	19人 1団体
スポーツ奨励賞	28人 7団体	23人 5団体	26人 7団体
スポーツ功労賞	1人	1人	2人
スポーツ特別賞		1組（2人）	0組（0人）

能登島武道館立野弓道場開設記念大会（第18回）

事業主体 七尾市弓道協会
開催期日 平成26年9月21日（能登島武道館立野）
参加者数 40チーム、114名（男子80名、女子34名）

武道競技人口の維持拡大を図るため、引き続き開催を進める。

石川県高等学校新人選抜バスケットボール七尾大会（第42回）

事業主体 石川県高等学校体育連盟バスケットボール部
開催期日 平成27年1月10日～11日
（中島体育館・田鶴浜体育館）
参加者数 県内男女各16チーム

競技レベルの向上のため、引き続き開催を進める。

石川縣市町対抗ふるさと駅伝（第12回）

事業主体 石川縣市町対抗ふるさと駅伝実行委員会（北國新聞社）
 開催期日 平成26年11月24日
 大会内容 加賀温泉郷長距離コース6区間（中・高・一般男女各1名）
 市町対抗部門（17チーム）、ふるさと部門（14チーム）

過去の成績（七尾市）

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
5位	5位	5位	2位	3位

石川県高等学校相撲七尾大会（第55回）

事業主体 石川県高等学校相撲七尾大会実行委員会
 開催期日 平成26年4月29日（愛宕山相撲場）
 参加者数 250人

でか山・花嫁のれんウォーク（第5回）

事業主体 七尾ウォーキング協会実行委員会
 開催期日 平成26年5月4日
 参加者数 87人

市をPRする効果は大きく、市内陸上競技レベルの向上に資することができる。

競技の振興が概ね図られている。

青柏祭に合せ市をPRするとともに健康増進を図るため、引き続き開催を進める。

③ スポーツ環境の充実

体育館の管理運営

利用者数の推移

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
七尾総合市民体育館	43,247人	53,569人	50,445人
城山体育館	27,505人	28,426人	26,137人
みなとふれあいスポーツセンター	22,324人	24,400人	22,859人
田鶴浜体育館	26,833人	25,711人	29,494人
中島体育館	28,999人	29,957人	31,165人

多くの市民に利用されており、引き続き利用率の向上に努める。今後は、合宿等交流人口の拡大との利用の住み分けに配慮していく必要がある。

陸上競技場の管理運営

利用者数の推移

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
城山陸上競技場	44,712人	31,648人	37,117人

市内唯一の公認陸上競技場であり、競技レベルの向上に資している。

テニスコートの管理運営

利用者数の推移

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小丸山テニスコート	5,486人	5,479人	4,792人
田鶴浜テニスコート	2,803人	1,815人	2,179人

適正な維持管理により、市民の利用が確保されているが、更なる利用促進に努める必要がある。今後は、合宿等交流人口の拡大との利用の住み分けに配慮していく必要がある。

野球場の管理運営

利用者数の推移

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
七尾城山野球場	18,530人	16,865人	17,375人
中島野球場	6,256人	5,290人	4,935人

城山野球場スコアボード改修

適正な維持管理により、利用確保が図られているが、更なる利用促進に努める必要がある。

水泳プールの管理運営

利用者数の推移

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
城山水泳プール	4,186人	5,193人	4,277人

適正な維持管理により、市民の利用が確保されているが、更なる利用促進に努める必要がある。

武道館の管理運営

利用者数の推移

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
武道館	19,300人	21,297人	20,609人
田鶴浜武道館	4,058人	4,148人	5,359人
中島武道館	2,914人	2,902人	2,141人
能登島武道館立野	3,378人	3,961人	3,122人

石川県公立武道館協議会負担金

適正な維持管理により市民の利用が確保されているが、更なる利用促進に努める必要がある。

その他の体育施設の管理運営

利用者数の推移

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
愛宕山相撲場	1,280人	2,180人	1,430人
中島相撲場	91人	0人	0人
小丸山ゲートボール場	3,556人	3,636人	3,382人
田鶴浜室内ゲートボール場	4,253人	3,602人	3,641人
二枚田運動場	2,235人	2,473人	1,040人
田鶴浜多目的グラウンド	3,544人	3,298人	4,509人
中島集いの広場	4,160人	4,216人	4,186人

適正な維持管理により市民の利用が確保されているが、更なる利用促進に努める必要がある。

海洋センターの管理運営

利用者数の推移

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
B&G七尾海洋センター	3,013人	2,753人	2,663人

B&Gななお海洋クラブの運営（会員数 55名）

適正な維持管理により市民の利用が確保されているが、更なる利用促進に努める必要がある。

コロサスキー場の管理運営

ゲレンデ 15,900 m²、ペアリフト L=221m

指定管理者：湖畔公園コロサ管理組合

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
年間営業日数	54 日間	37 日間	59 日間
年間入場者数	9,156 人	8,191 人	10,802 人

市内小学校スキー実習や多くの市民に利用されており、引き続き利用率の向上に努める。

(参考)


観光施設（サッカー場等）

施 設 名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
和倉温泉運動公園多目的 グラウンド	54,706 人	59,382 人	60,276 人
和倉温泉運動公園多目的 ヨットハーバー	10,541 人	1,912 人	482 人
能登島グラウンド	2,700 人	42,848 人	48,813 人

3 歴史・伝統文化の振興 (1) 歴史・文化遺産の保全と活用

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	24年度	25年度	26年度	25年度 数値目標	30年度 数値目標
歴史・文化遺産が守られていると思う市民の割合	歴史・文化遺産の保全への取組状況を示す指標	44.7%	48.0%	49.8%	55.0%	60.0%

事務事業名及び主な活動内容		事務事業に対する評価																		
<p>① 歴史的価値のある文化財の保護</p> <p>国指定文化財の保護 国指定文化財（13件）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>記念物</td> <td>史跡</td> <td>七尾城跡 能登国分寺跡 附 建物群跡 万行遺跡 須曾蝦夷穴古墳</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">有形文化財</td> <td>絵画</td> <td>絹本著色 前田利春画像 一幅</td> </tr> <tr> <td>彫刻</td> <td>木造 久麻加夫都阿良加志比古神坐像 一躯 木造 千手観音坐像 一躯</td> </tr> <tr> <td>工芸品</td> <td>刺繍 阿弥陀三尊像 一幅</td> </tr> <tr> <td>建造物</td> <td>藤津比古神社本殿 附 元禄十五歳棟札 座主家住宅 一棟</td> </tr> <tr> <td>無形民俗文化財</td> <td></td> <td>青柏祭の曳山行事 気多の鶴祭の習俗 熊甲二十日祭の杵旗行事</td> </tr> <tr> <td>(登録文化財)</td> <td></td> <td>懐古館ほか 12件</td> </tr> </tbody> </table> <p>文化財パトロールの実施（年4回） 史跡の管理（万行遺跡ほか3件） 無形民俗文化財後継者育成（青柏祭でか山保存会）</p>		記念物	史跡	七尾城跡 能登国分寺跡 附 建物群跡 万行遺跡 須曾蝦夷穴古墳	有形文化財	絵画	絹本著色 前田利春画像 一幅	彫刻	木造 久麻加夫都阿良加志比古神坐像 一躯 木造 千手観音坐像 一躯	工芸品	刺繍 阿弥陀三尊像 一幅	建造物	藤津比古神社本殿 附 元禄十五歳棟札 座主家住宅 一棟	無形民俗文化財		青柏祭の曳山行事 気多の鶴祭の習俗 熊甲二十日祭の杵旗行事	(登録文化財)		懐古館ほか 12件	<p>所有者や管理者（町会）、保存団体と連絡を密にし、適正に管理にされていることを確認している。</p> <p>更に、県により、定期的（年4回）にパトロールが実施され、文化財の実態確認も行われている。</p> <p>本年度、春木屋洋品店（旧春木屋商店洋服部）一棟が国登録有形文化財となった。</p>
記念物	史跡	七尾城跡 能登国分寺跡 附 建物群跡 万行遺跡 須曾蝦夷穴古墳																		
有形文化財	絵画	絹本著色 前田利春画像 一幅																		
	彫刻	木造 久麻加夫都阿良加志比古神坐像 一躯 木造 千手観音坐像 一躯																		
	工芸品	刺繍 阿弥陀三尊像 一幅																		
	建造物	藤津比古神社本殿 附 元禄十五歳棟札 座主家住宅 一棟																		
無形民俗文化財		青柏祭の曳山行事 気多の鶴祭の習俗 熊甲二十日祭の杵旗行事																		
(登録文化財)		懐古館ほか 12件																		
 <p>春木屋洋品店（旧春木屋商店洋服部）一棟</p>																				

県指定文化財の保護

県指定文化財（24件）

記念物	史跡	院内勅使塚古墳 一基 赤蔵山 上町マンダラ古墳群
	天然記念物	飯川のヒヨドリザクラ 伊影山神社のイチョウ 岩屋化石層 唐島神社社叢タブ林
有形文化財	絵画	絹本著色 印鑰明神垂迹図 一幅 ほか
	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像 一躯 ほか
	歴史資料	伊夜比咩神社棟札 三二枚 ほか
無形民俗文化財		七尾まだら（「能登のまだら」のうち） 能登の諏訪祭りの鎌打ち神事 能登島向田の火祭

文化財パトロールの実施（年1回）

指定文化財（史跡、天然記念物等）周辺除草管理
唐島神社社叢タブ林等管理支援（塩津町会）
無形文化財後継者育成支援（七尾まだら保存会）
赤蔵山保存整備事業（宗）赤倉神社、（H25～H26）



県指定史跡 赤蔵山被害修復状況写真

所有者や管理者（町会）、保存団体と連絡を密にし、適正に管理にされていることを確認している。更に、県により、定期的（年1回）にパトロールが実施され、文化財の実態確認も行われている。

赤蔵山保存整備事業
H25年度から本年度まで2カ年事業（県補助事業）で、参道崩落個所の保存整備事業を実施する。

【事業費】5,080千円

H25 2,360千円

（県50%、市25、宮25%）

H26 2,720千円

（県50%、市25、宮25%）

市指定文化財の保護

市指定文化財（238件）

記念物	史跡	高木森古墳 一基 東嶺寺内長家墓所 殿様道 ほか
	天然記念物	ケヤキ（飯川町） 大杉（久麻加夫都阿良加志比古神社） 小牧のスダジイ 出村家のタブノキ ほか
有形文化財	絵画	釈迦涅槃図 一幅 三千仏画像 一幅 ほか
	彫刻	木造 聖観音立像 一躯 木造 阿弥陀如来坐像 一躯 ほか
	歴史資料	総社三十六歌仙額 ほか
無形民俗文化財		七尾豊年太鼓 獅子舞（三引町） 鉦打のおすずみ祭り ほか

文化財パトロールの実施（年1回）、
ケヤキ保護事業補助金（飯川町会）
龍門寺文書保存修理事業（龍門寺）



龍門寺文書保存修理事業完了検査（七尾美術館）

文化財保護審議会

文化財の保存及び活用に関する重要事項の調査及び審議
委員数 9人、年間会議開催回数 2回

所有者や管理者（町会）、保存団体と連絡を密にし、適正に管理にされていることを確認している。更に、市により、定期的（年1回）にパトロールが実施され、文化財の実態確認も行われている。

本年度、「紙本著色涅槃図 長谷川等誉筆」一幅など4件が指定となる。

ケヤキ（飯川町）保存事業
H25から、H27年度までの3カ年事業（市補助事業）で、樹勢回復を実施する。

【事業費】1,709千円
H25 699千円
（市50%、町会50%）
H26 151千円
（市50%、町会50%）
H27 346千円
（市50%、町会50%）

龍門寺文書保存修理事業
【事業費】H26 939千円
市50% 所有者50%

文化財の保護や新指定に向けた検討がされた。市の文化財の新指定「紙本著色涅槃図 長谷川等誉筆」一幅など4件が指定となる。

文化財関係団体との連携の推進

能登文化財保護連絡協議会	能登地域の連絡提携（昭和35年発足） 現地調査、「能登の文化財」発刊など
石川県史跡整備市町協議会	史跡の保存整備、調査研究と事業の推進 県内17市町で構成
(公財)七尾城址文化事業団	七尾城史資料館・懐古館の管理運営 機関紙「七つ尾」の発刊 など

各団体と連携しながら、目的を達成することができた。

② 歴史・文化遺産の調査・研究活動の推進

市内遺跡発掘調査

開発行為等に伴う確認調査（12カ所）
万行遺跡（佐味今田谷内古墳群）範囲確認調査の実施
七尾城跡の石垣調査の実施、報告書の刊行。



佐味今田谷内古墳群調査現地説明会風景写真

開発者の理解を得ながら、試掘調査を実施し、目的を達成した。
万行遺跡の関連遺跡として、佐味今田谷内古墳群の範囲確認調査を実施した。

史跡万行遺跡の管理

史跡万行遺跡の除草管理（万行遺跡保存会） 3回

地元の協力を得て、目的を達成できた。今後の活用策の検討が必要。

史跡七尾城跡の公有地化

通称「大塚」周辺約3.6haの取得(国庫補助事業)

中心部の未買収地は、本丸周辺1.7haとなる。

上町A・B遺跡発掘調査報告書刊行

県営圃場整備事業に伴う石川県からの受託調査
（2カ年事業、H25～H26）

計画通り発掘調査実施し、目的を達成できた。

市史資料保存活用事業費

『新修七尾市史』編さんに伴う史料整理および活用

『新修七尾市史』編さんに伴う学校関係資料をとりまとめ、市HPで公開する。（旧中島町、旧田鶴浜町、旧能登島町地域）

③ 歴史・文化を活かした交流の促進

城史資料館・懐古館の管理運営

指定管理者 公益財団法人七尾城址文化事業団

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
城史資料館	3, 207人	3, 210人	3, 918人
懐古館	2, 629人	2, 524人	2, 807人

(※平成20年度から冬季3ヵ月の休館を実施)

能登国分寺公園の管理運営

平成26年度総入園者数 16, 623人

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
能登国分寺展示館	1, 344人	1, 103人	1, 177人

(※平成19年度から冬季3ヵ月の休館を実施)



高校生による
花苗の植栽風景

文化財資料整理室の管理運営

発掘調査出土品等の資料整理と保管管理

※平成24年度に旧有隣保育園（寿町）に移転

祭り会館の管理運営

国指定無形民俗文化財「熊甲二十日祭の杵旗行事」の常設展示

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
祭り会館	2, 628人	3, 126人	2, 840人

(※平成20年度から冬季3ヵ月の休館を実施)

蝦夷穴歴史センターの管理運営

国指定史跡「須曾蝦夷穴古墳」を主とした展示施設

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
蝦夷穴歴史センター	650人	751人	917人

(※平成18年度から冬季4ヵ月の休館を実施)

適正に管理・運営されている。

指定管理者である（公財）七尾城址文化事業団と連携しながら、入館者増の取組みに努めている。

良好に管理運営できている。開園後20年経過していることから南門などの復元遺構の損傷が著しく、対応が課題である。

同公園の西側に建設されている県営歴史公園と連携した活用策の検討も課題とされる。

発掘調査資料等の整理は、予定どおり実施できた。

特に、明治の館とも連携したPRに努め、入館者数増の取組みが最重要な継続課題である。

水族館、ガラス美術館と連携した入館者増の取組みが課題である。

明治の館の管理運営

市指定文化財「明治の館」の展示公開

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
明治の館	1, 6 9 5 人	1, 9 6 4 人	2, 0 1 3 人

(※平成20年度から冬季3ヵ月の休館を実施)

七尾学の推進

七尾学講座の開催（4回）

委員会の開催（3回）

「七尾検定」（11月29日） 受験者161人
上級 28人（うち合格者 9人）
中級 41人（うち合格者 10人）
初級 92人（うち合格者 62人）

博物館建設構想策定事業費

博物館建設に係る基本計画の策定

委員 19名（有識者5名、公募委員8名、行政6名）

委員会 2回開催

市民ワーキング 1回

視 察 2回（岐阜県美濃加茂市、三重県津市他）

祭り会館と連携しながら入館者増の取組みが必要である。

今後も各方面へのPRに努め、受講者と受験者の増加を図る必要がある。

基本計画を策定する。

【建設地】

県営能登歴史公園内

【方針】

歴史＋自然系博物館

【開館】

平成30年度



視察風景写真

(美濃加茂市民ミュージアム)

4 芸術文化の振興 (1) 優れた芸術・文化体験の創出

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	24年度	25年度	26年度	25年度 数値目標	30年度 数値目標
七尾美術館観覧者数	七尾美術館の観覧状況を示す指標	27,728人	30,643人	27,064人	38,000人	41,000人
能登島ガラス美術館観覧者数	能登島ガラス美術館の観覧状況を示す指標	42,452人	41,388人	38,360人	55,000人	60,000人

事務事業名及び主な活動内容	事務事業に対する評価																										
<p>① 芸術・文化活動の促進</p> <p>中島文化センターの管理運営 市民文化の振興、生涯学習の推進及び地域産業の発展</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用件数</td> <td>476件</td> <td>613件</td> <td>797件</td> </tr> <tr> <td>年間延べ利用者数</td> <td>27,638人</td> <td>44,366人</td> <td>39,677人</td> </tr> </tbody> </table> <p>中島文化センター改修積立基金の積立 (平成26年度末残高 11,053千円)</p> <p>池田家の管理運営 管理委託先 七尾市文化協会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間延べ利用者数</td> <td>3,145人</td> <td>3,169人</td> <td>3,244人</td> </tr> </tbody> </table> <p>七尾市文化協会の運営支援 会員数 1,868名、96団体 「文化ななお」の発刊(第36号～第39号) 第10回七尾市民文化祭の開催(平成26年10月19日～11月16日)</p> <p>その他文化団体の活動支援</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>七尾話し方研究会</td> <td>話し上手、聞き上手の人づくり 研修会、各種話し方大会への参画</td> </tr> <tr> <td>七尾市子ども劇場</td> <td>児童文化の創造と発展活動 構成員 102名</td> </tr> <tr> <td>石川県勤労者文化協会</td> <td>芸術活動を通じた勤労意欲の向上 各種展覧会の開催など</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	年間利用件数	476件	613件	797件	年間延べ利用者数	27,638人	44,366人	39,677人	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	年間延べ利用者数	3,145人	3,169人	3,244人	七尾話し方研究会	話し上手、聞き上手の人づくり 研修会、各種話し方大会への参画	七尾市子ども劇場	児童文化の創造と発展活動 構成員 102名	石川県勤労者文化協会	芸術活動を通じた勤労意欲の向上 各種展覧会の開催など	<p>平成23年度より(公財)演劇のまち振興事業団を指定管理者とし、施設の適正管理と住民サービスの向上を図り、利用者への奉仕及び公平なサービスの提供に努めている。</p> <p>適正維持管理により、市民利用の確保が図られている。</p> <p>市民文化のすそのを拡大のため、引き続き支援を要する。</p> <p>市民文化のすそのを拡大し、引き続き支援を要する。</p>
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度																								
年間利用件数	476件	613件	797件																								
年間延べ利用者数	27,638人	44,366人	39,677人																								
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度																								
年間延べ利用者数	3,145人	3,169人	3,244人																								
七尾話し方研究会	話し上手、聞き上手の人づくり 研修会、各種話し方大会への参画																										
七尾市子ども劇場	児童文化の創造と発展活動 構成員 102名																										
石川県勤労者文化協会	芸術活動を通じた勤労意欲の向上 各種展覧会の開催など																										

全能登私の主張発表大会の開催

新しい生活文化の創造と明日の郷土づくりへの反映
平成26年8月24日（七尾サンライフプラザ）

スクールシアターの開催（石川県芸術鑑賞推進事業の実施）

北星小学校（平成26年6月17日）61人参加

少年の主張能登地区予選であることを重視し大会の充実を図る。

児童生徒の芸術鑑賞の機会確保が図られた。

② 美術館の機能充実

七尾美術館の管理

指定管理者 公益財団法人七尾美術財団

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
展覧会開催日数	290日	277日	278日
延べ観覧者数	27,728人	30,643人	27,064人
市民ギャラリー貸館利用	5,205人	8,024人	5,456人
七尾市美術展覧会	1,748人	1,844人	1,749人
アートホール貸館利用	7,336人	7,651人	6,940人

※述べ観覧者数には、市民ギャラリー貸館、七尾市美術展覧会を含む

七尾美術館主催の展覧会事業に付随、又は連動して、市民ギャラリー・アートホールを使用した事業を展開することや、貸館としての事業を実施することに多くの利用者が美術館施設を活用することができた。

アートホールは、音楽や芸能関係の他、医療関係の講演や各種研究発表、保育園の発表会等の利用が増加している。

七尾美術館の運営

主な企画展及び入館者数

長谷川等伯展～その多彩な画業～	6,146人
第70回記念現代美術展七尾展	1,721人
等伯に続く長谷川派の絵師たち 絵のちから～近世から現代作家まで～	3,066人
2014イタリア・ボローニャ国際絵本原画展	5,423人

長谷川等伯展では国指定重要文化財の展示に加え、市民の文化的財産として等伯作品を適切に展示、保存管理を実施した。



ボローニャ展を見学する保育園児



絵本づくりワークショップ

教育普及活動実績

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
学芸員による団体解説	1, 280人	1, 644人	2, 189人
学校団体鑑賞	3, 250人	2, 487人	2, 654人
等伯子どもなんでもクイズ	494人	284人	269人
絵本づくりワークショップ	162人	160人	173人
紙芝居劇場・お話劇場	187人	203人	198人
映画上映会	2, 054人	1, 351人	1, 260人
展覧会関連イベント	61人	376人	15人

※長谷川等伯展で鑑賞の手引きを作成。来館者に広く配布(5,000部)
 児童生徒への等伯学習の資料としても活用された。

ボローニャ展、現代美術展の継続開催に加え、地元芸術家を広く県民、市民に紹介することで、美術への意識を高め、文化意識の醸成に努め、幅広い年齢層に向けた企画展を開催し、芸術文化の普及に努めた。

児童生徒や希望の団体に展示室で解説することにより来館者の美術への関心と興味を深め、満足度を上げることができた。

ワークショップでは、子どもたちのみならず親子で楽しく鑑賞できることを目的とした内容で実施することにより、芸術を身近に感じ、美術館への来館に繋がるよう努めている。

講演会等

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
特別講演会 長谷川等伯展	123人	118人	74人
ギャラリートーク、列品解説など	71人	81人	14人



学芸員によるギャラリートーク



学校団体鑑賞

七尾美術館美術品収集事業費

購入 0件、寄附 83点

美術品収集積立基金の積立（平成26年度末残高 25,290千円）

七尾市美術展覧会の開催支援

事業主体 七尾美術作家協会

事業内容 一般の部：日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真
ジュニア部門：絵画、習字、写真

開催期日 平成26年10月28日～11月3日（七尾美術館）

等伯展講演会には、毎年著名な研究者を招聘し、学術的にも貴重な機会として継続開催することで出生地としての文化意識の向上と顕彰に努めている。

企画展の内容に応じて学芸員による列品解説の時間を設けることで、より美術作品への理解と関心を深めることに努めた。

所蔵品充実のため、引き続き事業を進める。

市民作家の力の向上が図られ、年々出品数が増加してきている。

ジュニア部門の新設により、幅広い年齢層の美術への興味関心を深める機会となっている。

その他の事業

学校との連携事業

- ・中学生わくワーク就業体験受入
実施期間：平成26年7月8日～7月10日
受入対象：能登香島中学校2年生2名受入指導
七尾東部中学校2年生1名受入指導
- ・高校生インターンシップ受入
実施期間：平成26年8月5日～8月7日
受入対象：七尾高等学校2年生2名受入指導
- ・学校団体鑑賞の受け入れ
受入件数：66団体、2,654名(引率者を含む)
*うち市内小中学校：28件、1,143名(引率者を含む)

能登島ガラス美術館の管理

指定管理者 公益財団法人 七尾美術財団

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
展覧会開催日数	330日	327日	332日
延べ観覧者数	42,452人	41,388人	38,360人

能登島ガラス美術館の運営

主な企画展及び入館者数

香りとファッションの美学展	9,402人
ガラスの科学展～美しき造形の秘密～	11,451人
THE ALFEE 坂崎幸之助ガラスコレクション展 ～和ガラスに抱かれて～	7,508人



香りとファッションの美学展

中高生は就業体験を通し、職場としての美術館を体験することで、将来の職業選択はもとより、芸術、文化への興味関心を深めることに繋がった。

ガラス芸術普及の拠点として、また交流人口拡大の拠点として、利用者の増加を目指した。

様々な視点でガラス芸術を紹介するとともに、魅力的な展覧会を開催し、入館者数の増加を目指した。



THE ALFEE 坂崎幸之助ガラスコレクション展
～和ガラスに抱かれて～

教育普及活動実績

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
団体解説	1, 160人	2, 267人	975人
展覧会に関連した特別企画	451人	517人	一人
こども館長・こども学芸員	—	—	10人
七尾市民無料デー	—	—	25人
島のクラフトフェア in ガラ美	—	—	114人
ワークショップ	347人	309人	689人
市内文化イベント出張ワークショップ	202人	177人	22人

ガラス芸術ならびに美術に対する市民の関心を高めるための事業を開催し、参加者の増加を目指した。



小学生団体鑑賞



ガラス作家によるワークショップ

講演会等

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
講演会、ギャラリートーク	511人	468人	320人

その他の事業

・学校との連携事業

学芸員による出前事業：平成26年11月5日（水）

学校名：能登香島中学校 35名

学芸員による出前講義：平成26年6月21日（土）

学校名：京都工芸繊維大学 120名

・学校等高校生以下団体鑑賞の受入れ

受入れ数：12団体、414名（引率者を含む）

＊うち市内小中学校：校、69名（引率者を含む）

・職場体験学習の受入れ

実施期間：平成26年7月8日～10日

受入対象：能登香島中学校2年生2名受入指導

・美術系大学との協働事業の実施

事業名：能登島ガラスの丘プロジェクト

「子ども向けセルフガイド作成事業」

事業期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

大学名：金沢美術工芸大学 山崎剛教授ゼミ3名

・市民との協働事業の実施

事業名：「島のクラフトカフェ in ガラ美」 参加人数114名

事業期間：平成26年10月18日～19日

連携先：能登島ガラス工房、島内陶芸工房（3件）

連携内容：地元作家が制作した器を用い、能登にちなんだメニューと美術館前庭からの眺めを楽しんでいただいた。

また、上記ガラス作家や陶芸作家の花器を用いての活け花展示や同作家の作品やその活動を紹介するコーナーを設けた。

・地域の各種団体活動への協力

協力先：七尾ロータリークラブ

内 容：「能登島ガラス美術館の活動紹介」

日 程：平成27年3月6日 参加人数：35名

その他協力先：能登島コンシェルジュ委員会、まあそい市のとじま手まつり等

七尾市能登島カルチャーパークの管理

指定管理者 公益財団法人七尾美術財団

屋外ガラス作品の管理

敷地内の芝生、樹木ならびに駐車場、道路の管理

講演会には、企画展の内容に応じて講師や作家を招聘し、展覧会への興味関心を深めてもらうことに努めた。企画展の内容に応じて学芸員による列品解説の時間を設けることで、より美術作品への理解と関心を深めることに努めた。

子供たちが豊かな表現能力を身につけ、将来を担う人材を育成するため、今後も学校との連携事業を行う必要がある。

市民の文化芸術活動をサポートし、地域振興に貢献する美術館として、今後も地域との連携事業を行う必要がある。

開かれた憩いの場を提供する美術館として、今後も継続してパーク管理を行う必要がある。

4 芸術文化の振興 (2) 地域に根ざした演劇文化の振興

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指 標 名	指標の説明	24年度	25年度	26年度	25年度 数値目標	30年度 数値目標
能登演劇堂鑑賞者数	能登演劇堂の鑑賞状況を 示す指標	11,713人	27,373人	12,052人	24,000人	28,800人

事務事業名及び主な活動内容	事務事業に対する評価																																
<p>① 演劇文化の魅力創出</p> <p>能登演劇堂の運営</p> <p>自主事業及び入場者数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>ラ・フォル・ジュルネ金沢「熱狂の日」音楽祭 2014in 七尾</td> <td>374人</td> </tr> <tr> <td>ドキュメンタリー映画 仲代達矢「役者」を生きる</td> <td>365人</td> </tr> <tr> <td>「日本の面影」</td> <td>1,308人</td> </tr> <tr> <td>野村萬斎と若村麻由美の世界 ～狂言と平家物語～</td> <td>634人</td> </tr> <tr> <td>「飛龍伝」</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>宝くじ文化公演 「ブッダ」</td> <td>442人</td> </tr> <tr> <td>市民劇団 劇団N 「骨まで愛して」落語的幸福論</td> <td>522人</td> </tr> <tr> <td>「バリモア」</td> <td>3,020人</td> </tr> <tr> <td>「黄昏にロマンス」</td> <td>1,271人</td> </tr> <tr> <td>「かけたるものありと思へば」</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>「夢千代日記」</td> <td>1,159人</td> </tr> <tr> <td>三遊亭、風間杜夫 二人会</td> <td>439人</td> </tr> </tbody> </table> <p>貸館事業及び入場者数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>アウトリーチ 小学校ワークショップ</td> <td>164人</td> </tr> <tr> <td>中部日本高校演劇ワークショップ</td> <td>464人</td> </tr> <tr> <td>七尾東雲高校演劇科第5回卒業公演 「銀河鉄道の夜」</td> <td>1,071人</td> </tr> <tr> <td>七尾市立中島小学校学習発表会</td> <td>500人</td> </tr> </tbody> </table>	ラ・フォル・ジュルネ金沢「熱狂の日」音楽祭 2014in 七尾	374人	ドキュメンタリー映画 仲代達矢「役者」を生きる	365人	「日本の面影」	1,308人	野村萬斎と若村麻由美の世界 ～狂言と平家物語～	634人	「飛龍伝」	275人	宝くじ文化公演 「ブッダ」	442人	市民劇団 劇団N 「骨まで愛して」落語的幸福論	522人	「バリモア」	3,020人	「黄昏にロマンス」	1,271人	「かけたるものありと思へば」	44人	「夢千代日記」	1,159人	三遊亭、風間杜夫 二人会	439人	アウトリーチ 小学校ワークショップ	164人	中部日本高校演劇ワークショップ	464人	七尾東雲高校演劇科第5回卒業公演 「銀河鉄道の夜」	1,071人	七尾市立中島小学校学習発表会	500人	<p>演劇をはじめとする質の高い事業活動を行ってきた。 無名塾によるロングランがなかったため、昨年度に比べ鑑賞者数が減少した。 今後、市民の関心に繋がる事業を展開する必要がある。</p>
ラ・フォル・ジュルネ金沢「熱狂の日」音楽祭 2014in 七尾	374人																																
ドキュメンタリー映画 仲代達矢「役者」を生きる	365人																																
「日本の面影」	1,308人																																
野村萬斎と若村麻由美の世界 ～狂言と平家物語～	634人																																
「飛龍伝」	275人																																
宝くじ文化公演 「ブッダ」	442人																																
市民劇団 劇団N 「骨まで愛して」落語的幸福論	522人																																
「バリモア」	3,020人																																
「黄昏にロマンス」	1,271人																																
「かけたるものありと思へば」	44人																																
「夢千代日記」	1,159人																																
三遊亭、風間杜夫 二人会	439人																																
アウトリーチ 小学校ワークショップ	164人																																
中部日本高校演劇ワークショップ	464人																																
七尾東雲高校演劇科第5回卒業公演 「銀河鉄道の夜」	1,071人																																
七尾市立中島小学校学習発表会	500人																																

② 演劇文化の醸成と継承

演劇のまち振興事業

県立七尾東雲高等学校演劇科支援事業補助金

1年生 2人

2年生 1人

3年生 2人 県外下宿生への補助 30,000円/月 (3年生卒業月は補助しない)

アウトリーチ事業 (学校への出張サービス)

実施日 平成27年1月14日、21日、28日

講師 テンシーズ 内容: コミュニケーションワークショップ

2014能登演劇堂ワークショップ

実施日 平成26年8月17日～20日

参加者 愛知・岐阜・三重・福井・石川・富山

中部日本高等学校演劇連盟に加盟する生徒 116名

演劇に関わる人材を広く募集し育成を行う必要がある。県内外を問わず生徒数の増加を期待する。

小学校へ講師として出向き、表現することの魅力を学んでもらう。

高等学校演劇と部活動を発展させ、演劇表現の向上に寄与することができた。



市民のねがい

～七尾市民憲章～

古き歩みを誇りつつ
文化の薫るふるさとに
豊かな未来夢ひらく

なみおだやかに^{あお}碧光り
ななおのまちに人集う
おとなも子どもも手をつなぎ
しあわせの和を広げよう

平成18年9月21日制定

【問合せ先】

〒926-8611 石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地

七尾市教育委員会事務局 教育総務課

TEL 0767-53-8434 FAX 0767-52-5194

E-mail kyouiku-soumu@city.nanao.lg.jp